

クラダシ会員の皆様へ

この度はクラダシのサイトを通じて、当財団の活動にご支援いただき心より感謝申し上げます。

いただいたご寄付は、ひとり親家庭や児童養護施設など、困難な状況にある子供たちへ自然体験活動を提供する活動のために大切に活用させていただきます。

寄付金額 ￥205,086-(受領日:令和3年1月29日)

若洲マリンスポーツ体験会

昨年夏、若洲海浜公園で児童養護施設の子供と職員を対象に「若洲マリンスポーツ体験会」を開催することができました。児童養護施設では休み中に海や湖に連れていくことは勤務状況や子供の安全性などを考えると難しく、子供たちにとって貴重な体験となったようです。

『なくそう！体験格差!!』 体験格差の解消にご協力ください

●参加したいけど... 広がる体験格差

少年期の自然体験活動には、コミュニケーション能力や自尊心など「社会を生き抜く力」の醸成、規範意識や道徳心の育成のほか、学力にも良い影響を与えることが分かっています。最近では、海・川・山などで多彩な体験活動が展開されるようになりましたが、自然の中での活動には、高い安全管理と充実したスタッフ体制をとる必要があることから、安価で実施することは難しく、参加費は1泊につき1万円程度となっています。



現在、収入が200万円に満たない子供のいる家庭は120万世帯を超えています。そのうち7割の家庭で月額教育費が1万円以下となっており、経済的・家庭的な理由による、子供たちの“体験格差”が指摘されています。

●子供の健やかな成長には、『食事+勉強』+αが必要

困難な状況におかれている子供たちには、行政やNPOなどの団体が様々なサポートを行うようになりました。しかしその内容は、食事の提供や学習支援が主体となっており、豊かな人間性を育む自然体験活動を支援する団体はほとんどありません。



このような状況を受け、B&G財団では、今まで培ってきた水辺の自然体験活動のノウハウと活動拠点である全国各地のB&G海洋センターを活用し、ひとり親家庭や児童養護施設など、困難な状況にある子供たちへ自然体験活動を提供する活動に着手しました。

●困難な状況にある子供たちに継続的な支援を

体験格差をなくし、成長期の子供に欠かせない自然体験活動をすべての子供たちに提供するには、私どもB&G財団だけの力では成しえませんが、広く国民の皆さんに体験格差の現状を知っていただくとともに、今後の継続的な活動へとつなげられるよう、活動に係る費用を一般の方々から募ることといたしました。体験格差の解消に向けた皆様のご協力をお願いいたします。



「小さな力を集めて大きな支援へ」なくそう！体験格差！！

B&G

感謝状

株式会社クラダシ

貴社は当財団の事業活動に対する

温かいご理解をいただき

令和3年1月29日に¥205,086

の御寄附を賜り当財団の円滑な運

営に多大な貢献を戴きました

よってそのご厚意に対し深く感謝

の意を表します

令和3年1月29日

公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

理事長 菅原悟志

